

Special Event

6/29日(土)・30日(日)

◇アイメイトと一緒に歩いてみよう
盲導犬と一緒に目かくしして体験歩行

(人数に制限があります)

1回目…13時～14時

2回目…15時～16時



2012年 千葉県習志野市開催 体験歩行

◇ギャラリートーク(使用者のお話)

1回目…14時/2回目…16時

(各回30分程度)



2011年 埼玉県上尾市開催 ギャラリートーク

EYEMATE



塩屋賢一は、国産盲導犬第1号「チャンピイ」を生んだパイオニアであり、盲導犬育成団体「(公財)アイメイト協会」の創設者です。

2010年9月、88歳の生涯を閉じました。塩屋賢一の意志は次世代に受け継がれ、今日までに「(公財)アイメイト協会」から1,200組を超える視覚障がい者と盲導犬(アイメイト)のペアが誕生しています。

「盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展」では、わが国の盲導犬の育成・普及につなげることをめざし、塩屋賢一とアイメイトの足跡を貴重な写真や資料によるパネル展示でたどります。



2011年 東京都江戸川区開催 パネル展示

盲導犬の父 塩屋賢一と アイメイトの 歩み展 in 熊谷

2013年

6月27日(木)～7月1日(月)

八木橋百貨店8F

(熊谷駅徒歩15分)

【時間】10:00～19:00

(最終日は17:00まで)

【主催】八木橋百貨店

アイメイト後援会

TEL: 03-3878-7353

【協力】公益財団法人 アイメイト協会

東京都練馬区関町北5-8-7



【後援】埼玉県・熊谷市・熊谷市教育委員会

風を切って歩く幸せくれた人

終戦後間もない頃のこと、公認訓練士の資格を持つ塩屋賢一は「塩屋愛犬学校」でペットの訓練を生業としていたが、いつしか世の中の役に立つ仕事をと、「盲導犬育成」を志して、愛犬のシェパード“アスター”と手探りで独自の方法を編み出して行く。それは忍耐と努力、挫折と勇気の繰り返しだった…。そして1957年、日本の盲導犬第一号“チャンピイ”が誕生し、日本の盲導犬の歴史が始まったのだ。



昭和31年頃
Googleで目かくしして訓練中の塩屋賢一

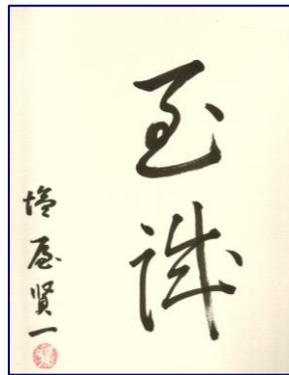


アスターと

視覚障害者の目となって、犬と人だけで自由に歩くアイメイトのペアは、北海道から沖縄まで日本全国で活躍している。白杖歩行では得られなかった安全性と確実さは格別と言う。また犬の持つ優しさと愛らしさをも兼ね備えて、単に目の代わり、歩行の自由だけでなく、心の友としても使用者を支え、癒してくれる、—それがアイメイトだ。—

現在は1,200組を超えるペアが、(公財)アイメイト協会から卒業しているが、受け入れる社会はまだまだ理解が充分でないのが現状だ。外出先で「入店拒否」にあう時がある。レストラン・ホテルなどで断られて行動を遮られるは残念だ。また狭い道を歩く時、後方の車から催促されたり、時には犬を可愛がってお菓子を与えられるのも困る。逆に面白半分には犬にいたずらされるなどはあってはならない事だ。

塩屋賢一は生涯をかけてアイメイト育成と視覚障害者の自立を念頭に置いてきた。その足跡を辿ると、見えてくるのはどこまでも絶え間ない努力だ。アイメイトペアの国会傍聴から、列車自由乗車、バス乗車時の口輪撤廃、などは強く願っていたことだった。好きな言葉「至誠」に通ずる真心の姿がそこにはあった。



感動の瞬間を使用者から聞いてみた。

初めてアイメイトと歩いた時、小さな体で一生懸命誘導してくれる。その誠実な思いがハーネスから伝わってきて嬉しさと胸一杯になる…。

早足で歩く時は前を行く人を追い越すこともあって、これが“風を切って歩くという事か”と知る。なんて爽快で愉快的気分だろう。

—有難うアイメイト。—
そしてこの幸せをくれた人に心からの感謝のメッセージを送りたい。